

部門ごとに集中審査 意見を付して認定

決算審査特別委員会

9月議会では、25年度決算の審査を行いました。決算審査の方法は、議長を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会（及川善男委員長、千田美津子副委員長）を設置、9月11日から9月19日まで審査し、その結果、いずれも原案のとおり認定しました。

総務部門

質問 協働のまちづくり交付金の使い方の現状は。同交付金に対する市長の考えはどうか。

答弁 現状は備品の購入等ハード面に使われる比率が高い。先ずは、まちづくりの計画を立て、それを実行する際の予算の一部として使ってもらうのが本来の目標だ。

質問 ホームページの多

言語化を進めるべきでは。

答弁 やるとすれば「日・中・韓・英」が考えられるが、その前にスマートフォンに適応させることを先にやりたい。

質問 空き家バンク事業は、7年間で169人の実績がある。継続を考えるべきではないか。

答弁 空き家バンク事業に関わった人たちは良い関係を築けているが、業務量が多い割には、

成果に結びつかない。今後は空き家バンクではなく、移住・定住にむけた総合的な政策を考える。

質問 老朽化した空き家を壊すと固定資産税が高くなる。聞いたが本当か。

答弁 住宅が建っている宅地は、建っていない土地の6分の1になる。

質問 固定資産税が高くなるから空き家を壊さないと聞か、なんとかならないのか。

答弁 今、国で検討中である。

質問 行政区世帯数で、多い所と少ない所は。

答弁 多い行政区は、水沢区の福原、上姉体で560〜580世帯。少ないのは、衣川の桑畑、江刺の伊手で1桁から11〜12世帯程度。

質問 バス補助金の傾向は。今年度での廃止はあるのか。

答弁 利用者は減少傾向で、収入も減ってきており補助金は増加傾向にある。本年度末で日曜・祝日の運行を廃止する予定



利便性の高い公共交通を目指して(市営バス)



空き家対策＝`撤去、と`利活用、の両輪で